

# i 館内インフォメーション

## 2019年度 県立美術館メンバーズクラブ



3/20(水)より受付開始!!

山口県立美術館と山口県立秋美術館・浦上記念館では、両館で開催する展覧会等をおして美術に広く親しんでいただき、地域文化の向上に寄与することを目的として、2館共通のメンバーズクラブ会員の募集受付をスタートいたします。6年目となる本年も、皆さまのご入会をお待ちしております。

※会員特典・入会方法などの詳細については、当館HPまたは会員募集チラシをご覧ください。入会したその日から使えます。\*ただし、3月31日までにご入会手続きをされた場合は、4月1日からご利用となります。

### 会員7大特典

- 2館の特別展(企画展)を5回まで無料、6回目以降は半額。また、コレクション展(普通展示)は無料(回数制限無し)でご覧いただけます。
- 展覧会オープニングセレモニーへご招待。(抽選で10名様限定)
- 開催中の展覧会図録を特別価格でご購入いただけます。
- 2館の展覧会・イベント情報などご自宅にお届けします。
- カフェでのお得な特典をご用意。
- 会員限定イベントにご参加いただけます。
- 協賛店でお得な割引が受けられます。



山口市と萩市にある2つの県立美術館を  
よりお楽しみいただける  
各種サービスをご用意しています。



〈会員限定イベント〉  
両館をバスで巡る美術鑑賞会の様子

年会費	一般会員:2,500円、学生会員(19歳以上の学生の方):2,000円、シニア会員(70歳以上の方):1,600円 ※学生・教職員の方は、キャンパスメンバーズもご利用いただけます。(ただし加盟校の方が対象) ※キャンパスメンバーズ加盟校の一覧および詳しい内容については、当館ホームページにてご確認ください。
募集期間	2019年3月20日(水)~7月31日(水)まで ※申込書および会員規約は、2館のホームページからダウンロードいただけます。
有効期間	2019年4月1日(月)~2020年3月31日(火)

# 2019 - 2020 schedule

山口県立美術館 2019年度年間スケジュール

	展示室 A	展示室 B	展示室 C	展示室 D	展示室 E	展示室 F
4	2/14(木)~5/6(月) ヌードの魅力	2/14(木)~5/6(月) シベリア・シリーズ III	4/1(月)~5/6(月) 松林桂月と防長の南画	特別展 3/20(水)~5/6(月・祝) 扇の国、日本 ファーストマンデー 4/1,5/6		全館休館(5/7~22)
5	5/23(木)~7/7(日) 牛腸茂雄展	5/23(木)~7/7(日) 山口の洋画	5/23(木)~7/7(日) 萩の山岳画家・高島北海	特別展 5/23(木)~7/7(日) 下瀬信雄展 ファーストマンデー 6/3,7/1		全館休館(7/8~22)
7	7/23(火)~8/18(日) 山口県立美術館コレクション特別展 香月泰男のシベリア・シリーズ ファーストマンデー 8/5					
8						全館休館(8/19~9/2)
9	9/3(火)~10/20(日) 吉村芳生展	9/3(火)~10/20(日) 松田正平 SHOW TIME!	9/3(火)~10/20(日) 花鳥の楽園	特別展 9/3(火)~10/20(日) ヨーロッパ絵画 美の400年 -珠玉の東京富士美術館コレクション- ファーストマンデー 10/7		全館休館(10/21~11/1)
10						
11		11/2(土)~12/8(日) 発見! 幻の雪舟2 〈文殊・張果老・黄初平図〉と雪舟の仏画		特別展 11/2(土)~12/22(日) 没後90年記念 岸田劉生展 ファーストマンデー 11/4,12/2		
12		12/10(火)~12/22(日) 雪舟作品映像展示	12/10(火)~12/22(日) 日本画の作られ方 模本・縮図・下絵			
1	12/10(火)~3/29(日) 木村伊兵衛と福田勝治					全館休館(12/23~2/12)
2		2/13(木)~3/29(日) 風景を描く	2/13(木)~3/29(日) 雲谷派名品選	2/13(木)~3/1(日) 第73回 山口県美術展覧会		
3						

### Information

■休館日  
月曜日(祝日・休日の場合は開館)  
※ただし、ファーストマンデー 特別展開催中の第1月曜日は開館。  
展示替期間 5月7日(火)~22日(水)、7月8日(月)~22日(月)、  
8月19日(月)~9月2日(月)、10月21日(月)~11月1日(金)、  
12月23日(月)~2020年2月12日(水)

■開館時間  
9:00~17:00(入館は16:30まで)

■料金  
コレクション展:一般300(240)円 学生200(160)円  
※( )内は20名以上の団体料金。  
※18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学する生徒は無料。  
※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。  
特別展:別途定めた料金

■美術館情報をFacebookで紹介しています



山口県立美術館  
Yamaguchi Prefectural Art Museum  
〒753-0089 山口県山口市龜山町3-1  
TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790  
http://www.yma-web.jp/

山口県立美術館ニュース「天花」第131号 平成31年3月発行

# 131

## 天花

TENGE

Contents  
コレクション特別展  
香月泰男のシベリア・シリーズ

特別展 山口県立美術館開館40周年記念  
扇の国、日本

下瀬信雄展  
ヨーロッパ絵画 美の400年 -珠玉の東京富士美術館コレクション-  
没後90年記念 岸田劉生展

お知らせ  
館内インフォメーション  
年間スケジュール



《馬鈴薯》香月泰男 1953年 油彩/カンヴァス 山口県立美術館蔵

## 山口県立美術館コレクション特別展

# 香月泰男のシベリア・シリーズ

2019  
7/23(火)→8/18(日)  
休館日●7/29(月)

「シベリア・シリーズ」で戦後洋画史に確たる地位を築いた画家、香月泰男(1911-74)。2011年以来、8年ぶりにシリーズ全57点を一度にご覧いただけます。加えて習作や素描、1940-50年代の模索期の作品、晩年の版画等、山口県立美術館の全展示室を使って、香月泰男の造形の軌跡をご紹介します。



《北へ西へ》香月泰男 1959年  
油彩/カンヴァス 山口県立美術館蔵

## 特別展 山口県立美術館開館40周年記念

# 扇の国、日本 IN THE COUNTRY OF FANS, JAPAN

2019 3/20(水)→5/6(日祝)  
休館日●月曜日(ただし4/1・4/29・5/6は開館)

中国から伝わった団扇をもとに日本で発明された扇。その折りたためる小さな画面には絵や書が施され、なかにはたいへん豪華なつくりのものもあり、まさに貴賤を問わず、いつでもどこでも楽しめる最も身近な美術品でした。扇そのもののほか、扇をモチーフにしたさまざまな作品などもあわせ、日本で愛されてきた扇の美の世界をご紹介します。



《一の谷戦図屏風》(左隻)  
海北友雪  
埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵



# 下瀬信雄展

2019年 5月23日 木 → 7月7日 日

休館日 ● 月曜休館 (ただし6/3・7/1は開館)

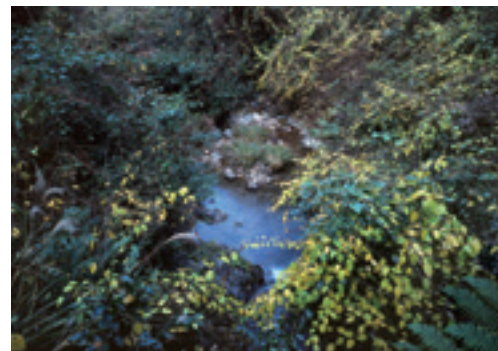
観覧料 ● 一般1,200(1,000)円/シニア・学生1,000(800)円 18歳以下無料  
コレクション展セット券(当日券のみ)一般1,300(1,100)円/学生1,100(900)円

会場 ● 山口県立美術館  
主催 ● 山口県立美術館、読売新聞社、KRY山口放送、萩市、萩市教育委員会(予定)



しもせ のぶお  
下瀬 信雄 (1944-)

旧満州新京市出身。1945年、萩市に引き揚げ。1967年、東京総合写真専門学校を卒業後、萩に帰る。以後萩を拠点に活動、ニコソロンなどで多数個展を開催してきた。現在までに写真集『萩・HAGI』(1989年)、『萩の日々』(1998年)、『結界』(2014年)を出版。IBA(インターナショナル・ブロードキャスティング・アワード)非英語部門最優秀賞(2005年)、第30回伊奈信男賞(2005年)、第63回山口県美術展覧会大賞(2009年)、第34回土門拳賞受賞(2015年)など受賞歴多数。



萩市在住の写真家、下瀬信雄(1944-)は、東京総合写真専門学校で写真を学び、家業の写真館を継ぐべく帰郷して後は、ふるさと萩で暮らす中で、郷土の文化や風土を独自の視点で撮るスタンスを貫いてきました。特に、自然界の中に潜む聖なる領域との境界を浮かび上げさせた写真集『結界』(2014年)は、第34回土門拳賞を受賞し、日本の自然写真の系譜に新たな領域を切り拓いたと評価されています。被写体は、クサンテツ、カラスノエンドウ、オオミズアオなど、我々の身近にある自然。侵しがたい神秘性を帯びたその緻密な写真は、我々の日常のすぐそばにある彼らの生命と、大自然の摂理ともいうべきその営みを改めて思い出させてくれます。本展覧会では、卒業制作など初期の作品から『結界』シリーズまで、写真家・下瀬信雄の軌跡をたどります。

- 1.《クサンテツ 萩市黒川》シリーズ『結界』より
- 2.《口羽家長屋門と少女 -堀内-》写真集『萩・HAGI』より
- 3.《小さな泉》シリーズ『結界』より
- 4.《時化が続いて久しぶりに漁があった -浜崎-》写真集『萩の日々』より
- 5.《羽化したオオミズアオ -萩市川上-》シリーズ『結界』より
- 6.《サンタモニカの風》シリーズ『日本風景』より
- 7.《空 -菊ヶ浜-》写真集『萩の日々』より



# ヨーロッパ絵画 美の400年

— 珠玉の東京富士美術館コレクション —

2019年 9月3日 火 → 10月20日 日

休館日 ● 9/9(月)・9/30(月)



1.《ベッドフォード伯爵夫人 アン・カーの肖像》  
ヴァン・ダイク、アンソニー  
1639年 油彩/カンヴァス  
東京富士美術館  
©東京富士美術館イメージアーカイブ/DNPartcom



2.《睡蓮》  
クロード・モネ  
1908年 油彩/カンヴァス  
東京富士美術館  
©東京富士美術館イメージアーカイブ/DNPartcom

3.《ヴェネツィア、サンマルコ広場》  
カラヴァッロ(ジョヴァンニ・アントニオ・カナル)  
1732-33年頃 油彩/カンヴァス  
東京富士美術館  
©東京富士美術館イメージアーカイブ/DNPartcom

東京富士美術館は、イタリア・ルネサンス期から現代にいたる西洋絵画の歴史をたどることのできる、日本でも指折りのコレクションで知られています。このたびの展覧会では、その珠玉のコレクションの中から約80点を厳選し、16世紀後半から19世紀にいたる西洋絵画の古典を紹介するとともに、それまでの価値観を破壊し、19世紀後半以降、新たな地平を切り開くこととなった近現代絵画の数々をも紹介します。モネ、ルノワール、マグリットをはじめとする近現代の人気作家のみならず、ティントレット、フランス・ハルス、アンソニー・ヴァン・ダイクなど、日本ではなかなか見ることのできないルネサンス、バロック、ロココ時代の巨匠の絵画にも触れることのできるまたとない機会です。ヨーロッパ絵画の醍醐味をたっぷりどうぞ堪能ください。

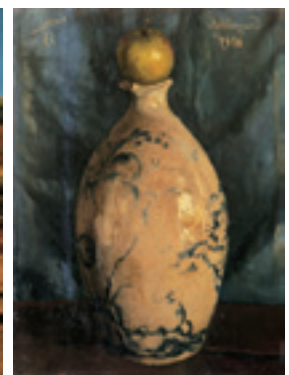
# 没後90年記念 岸田劉生展

2019年 11月2日 土 → 12月22日 日

休館日 ● 月曜日 (ただし11/4・12/2は開館)

明治から大正にかけて活躍した洋画家・岸田劉生(1891-1929)。その画業は、日本近代美術の歴史のなかでも、孤高を貫き、最も独創的な道を歩むものでした。明治の先覚者・岸田吟香の第9子として生を受けた劉生は、雑誌『白樺』で紹介されたゴッホなど後期印象派の作品に「第二の誕生」と呼ぶほどの衝撃を受け、強烈な色彩と筆致による油彩画を発表しました。しかし次第に「クラシックの感化」を受けて近代的傾向を離れ、デューラーなどを規範とする徹底した細密描写による独創的な画風を確立します。さらに浮世絵や

宋元画などの東洋美術に「卑近の美」を見出し、自ら日本画にも取り組みました。そして再び油彩画で新たな道を探求せんとしていた1929年、満州からの帰国の途上山口県徳山で客死、その孤高なる絵画への道は閉ざされたのです。本展では、制作年代の順に作品を展示し、変転を繰り返したその人生とともに、没後90年を迎える画家・岸田劉生の芸術を顕彰します。



1.《籠子微笑》  
※重要文化財 1921年10月15日 油彩/カンヴァス 東京国立博物館蔵 Image:TNM Image Archives  
2.《道路と土手と堀(切通之写生)》  
※重要文化財 1915年11月5日 油彩/カンヴァス 東京国立近代美術館蔵  
3.《壺の上に林檎が載っている》1916年11月3日 油彩/板 東京国立近代美術館蔵